

雪で予定変更もまた楽し。醤油博士になった一日

—— 銚子バスツアー ——

毎年人気のバスツアーが催されました。今回は、1月28日、銚子と佐原を訪ねる旅です。

当日は、なんと朝から雪！ 数人のキャンセルも出ましたが、約30名が参加しました。千葉市、そして県北東部へと進むにつれ、雪は激しさを増すばかり。車窓から眺める家々も、木々も、畑も、アツという間に雪化粧。雪で道路も大渋滞。銚子へは予定を大幅にオーバー、昼過ぎにやっと到着です。

予定していたヒゲタ醤油見学は、雪で休業のためキャンセルされてしまいましたが、ツアー幹事が交渉に尽力、急ぎよ、ヤマサ醤油が見学をOKしてくれました。ただし、ヤマサも休業のため、実際の工場見学はなく、見学センターにてビデオを見せていただくことに。

1645年、天保2年創業の老舗、ヤマサ醤油。見学センターには、その昔、醤油作りに用いられた木製の手桶各種や、大桶、印半纏（羽織に似た仕事着）などが展示されていて、歴史を感じさせます。

ところで、なぜ銚子が醤油の名産地なのかご存知ですか？ 答えは、銚子は暖流と寒流が沖で合流するので、夏涼しく冬暖かで湿度も高い。そのため、こうじ菌など微生物の働きを活用する醤油醸造に最適だから、です。こうした醤油のウンチクや、歴史、製造法など、20分のビデオ鑑賞後は、皆、ちょっとした醤油博士になりました。

ヤマサからパックの醤油を各自お土産にいただき、その後、近くの海鮮レストランにて遅い昼食。新鮮な海の幸を堪能しました。

午後は、ウソのような晴れ。しかし犬吠崎や佐原へ回る、という当初の予定は、渋滞で時間がなくなったため、全て断念。けれども、車窓から雪景色を楽しんだり、長くバスの中にいなければならなかった分、いろいろな人々とたくさんおしゃべりができたり、雪のおかげで、かえって楽しい一日となりました。

